

テーマ

“ポップアウトボイスの性質”



Characteristics of pop-out voice

講演者: 愛知淑徳大学 人間情報学部

Faculty of Human Informatics, Aichi Shukutoku University

教授 天野 成昭 氏

Professor, Shigeaki Amano

日時: 令和7年8月25日(月) 15:30~17:30

場所: 情報科学研究棟3棟5階 コラボレーションルーム7

講演要旨:

妨害音への耐性が高く、聞きとりやすい声をポップアウトボイスと呼ぶ。ポップアウトボイスを用いれば、防災無線放送・電話・補聴器などによる音声情報伝達などを含め、全ての音声情報伝達の確実性が向上し、災害時の人命・安全の確保や高齢者の生活の質の向上など重要な社会的効果が期待できる。しかしポップアウトボイスの知覚・生成の原理は解明されておらず、その工学的合成法・変換法も開発できていない。そこで我々の研究グループではポップアウトボイスの原理解明と工学的実現を目指して研究を進めてきた(科研費基盤研究 A, 20H00291)。その結果、(a)ポップアウトボイスは通らない声に比べて、同じ強度であっても検出閾値が約 4.1dB も低いこと、(b)ポップアウトボイスは音声自体に備わった性質であり言語に依存しないこと、(c)ポップアウトボイスの音響特徴の一つは 0.85~4kHz の周波数帯域にピークを持つスペクトル形状であること等が明らかになった。本講演では、これらの結果の詳細について紹介する。

講演者略歴:

1985/3	東京大学大学院人文科学研究科心理学専門課程(修士)修了
1985/4~2010/3	日本電信電話(株)基礎研究所研究員
1996/3	博士(心理学)取得(東京大学)
1996/8~1997/7	米国インディアナ大学心理学部客員研究員(兼務)
2000/4~2004/3	北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科客員助教授(兼務)
2010/4~現在	愛知淑徳大学人間情報学部人間情報学科教授
2021/4~2022/3	米国ワシントン大学言語学部客員研究員(兼務)